

# ほっとハート

例年よりも短い夏休みが終わり、学校に元気な子供たちが帰ってきました。まだまだ暑さは続きそうですが、学力・体力と併せて心の力も伸ばしていけるように、毎時間の道徳の授業、そして教育活動全体を通して行う道徳教育にも力を入れていきたいと思えます。

## 心の虹が大きুকかかっています！

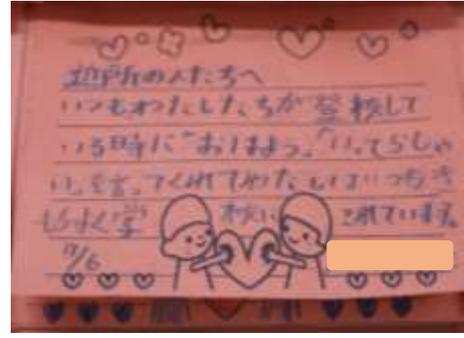
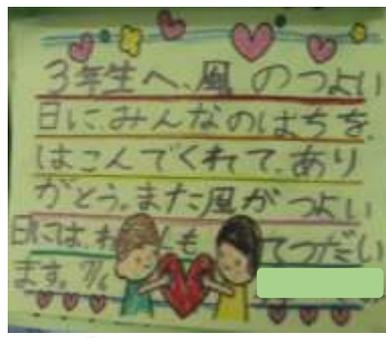
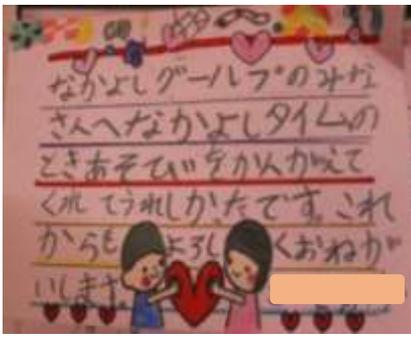
校内研修の中の環境整備部の活動の一つとして、全校で「心の虹」の掲示物を昨年度から作成しています。6月に設定された「ありがとう週間」の中で見つけた、友達や家族などへの感謝の思いを学年カラーの「ありがとうカード」に記し、虹に見立てて掲示しました。昨年度のものに新一年生の青いカードが加わり、更に大きな虹になりました！1年生から6年生までの全校児童のメッセージは、学年による内容の違いはありますが、どれも素直な感謝の言葉がつつられていて、読んでいて心が温まります。特に今回は、休校中にそばで支えてくれたご家族への感謝が多かったように感じます。中には、医療従事者や生活を支えて下さっている方への感謝の思いをつづる子もいました。また、休校を経て久しぶりの学校生活を過ごし、安全に連れて来てくれている通学班の班長さんや、学校のリーダーとして活躍してくれている6年生への感謝などに改めて気づくことが出来た子も多かったようです。

お昼の放送では、この心の虹の中から各学年の素敵なメッセージを選び、全校に紹介する企画を行っています。今は給食中に友達とお話することはできませんが、静かに放送を聞く時間を取ることが出来ています。同じ学校で生活する友達の感謝の思いに子供たちも静かに耳を傾けて聞き入っていて、優しい気持ちや感謝の気持ちがじんわりと広がっていくことを感じました。

保護者の皆様に見ていただく機会がなかなかありませんが、ご来校される際にはぜひ心の虹もご覧ください。

### 心の虹～各学年の放送の一部を紹介します～

- おかあさんへ やさしくて、とってもだいすき。おむすびおいしいよ。(1年生)
- 3年生へ 風の強い日にトマトの「はち」をはこんでくれてありがとうございます。おかげでたすかりました。(2年生)
- はん長さんへ いつもみんなの安全を見守ってくれてありがとうございます。これからもよろしくをお願いします。(3年生)
- パトロールの方へ 学校から下校するとき道路に立ってくれているので、安全に家まで帰れます。これからもよろしくをお願いします。(4年生)
- ゴミひろいをしてくださった人へ。 私が学校から帰っている時に、ゴミひろいをしながら歩いていた人がいました。ゴミひろいをしてくれてありがとうございます。(5年生)
- 校長先生、教頭先生、島田先生 いつも暑い中校庭の草を抜いて下さりありがとうございます。おかげで遊んでいる時や体育の時、走りやすいです。(6年生)
- おかあさんへ おいしいごはんをつくってくれてありがとう。(ひばり学級)



## 安心領域を広げよう

〇年〇組担任 〇〇〇〇

「安心領域」という言葉があります。その人が心地よく過ごせる、居心地のよい場所や状態のことです。「安心領域」はあった方がいいのです。その人が快適に生活するためには必要なものです。

しかし、ずっと今ある「安心領域」に閉じこもってしまうのがいいかということ、必ずしもそうではありません。今ある「安心領域」から一歩踏み出し、自分の「安心領域」を広げていくことも大切です。

例えば、授業の場面。「合っているか分からないけれど、こういうことかな。」と思って発表する人は、「安心領域」から一歩踏み出した人です。

「間違えたらいやだな。」

「間違えたら恥ずかしい。」

「多分こうだけど誰かが言ってくれるだろう。」

「これで合っていると思うけどちょっと自信がないな。」

こういう気持ちを振り切り、発表することは勇気がいるのです。挑戦すれば失敗することもあるし、恥ずかしい思いをすることだってあります。しかし、それを乗り越えることで心が強くなります。少しの失敗などで動じなくなります。だから様々なことに挑戦することができます。結果として大きく成長していきます。

「安心領域」を広げるとは、人間関係でもいえることです。今も仲のいい人、一緒にいて楽しい人がいると思います。それが、今のみなさんの「安心領域」の人たちです。それは素晴らしいことです。そのような人がいると、楽しく生活できると思います。

けれど、このままずっとそのままでもいいかということ、やはりそうとは限らないと思います。大人になって仕事をするとき、小学生の時から仲のよかった人とだけ仕事をするわけではありません。年齢だって違うかもしれないし、好きなものだって違うかもしれません。その中で協力しながら仕事をしていきます。

だから、今からみんなにも少しずつ「安心領域」を広げていってほしいと思います。いきなり無理する必要はありません。例えば、「今日は〇〇さんに声をかけてみよう。」「〇〇くんにあいさつを試してみようかな。」と行動してみるのもいいと思います。

勇気を出し、「安心領域」から一歩踏み出してみませんか。